

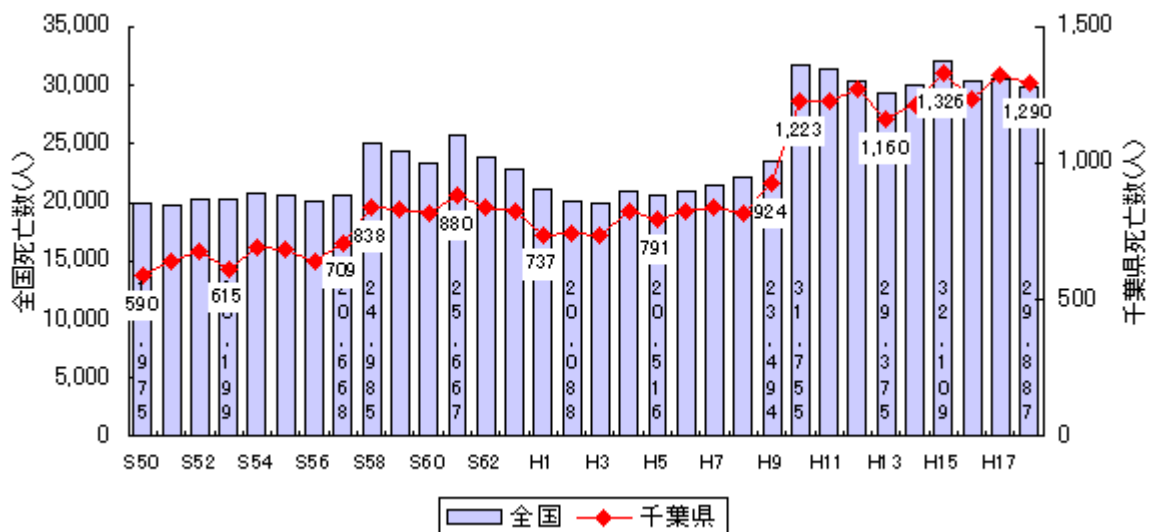
## 千葉県における自殺の統計分析 概要

衛生研究所

## 1 千葉県における自殺死亡数の年次推移

千葉県の自殺死亡数の年次推移は全国と同様の傾向を示し、平成9年の924人から平成10年は約300人（1.33倍）増加して1,223人となった後、横ばい傾向にある。平成15年は過去最高の1,326人を数え、近年は1,300人前後で推移している。

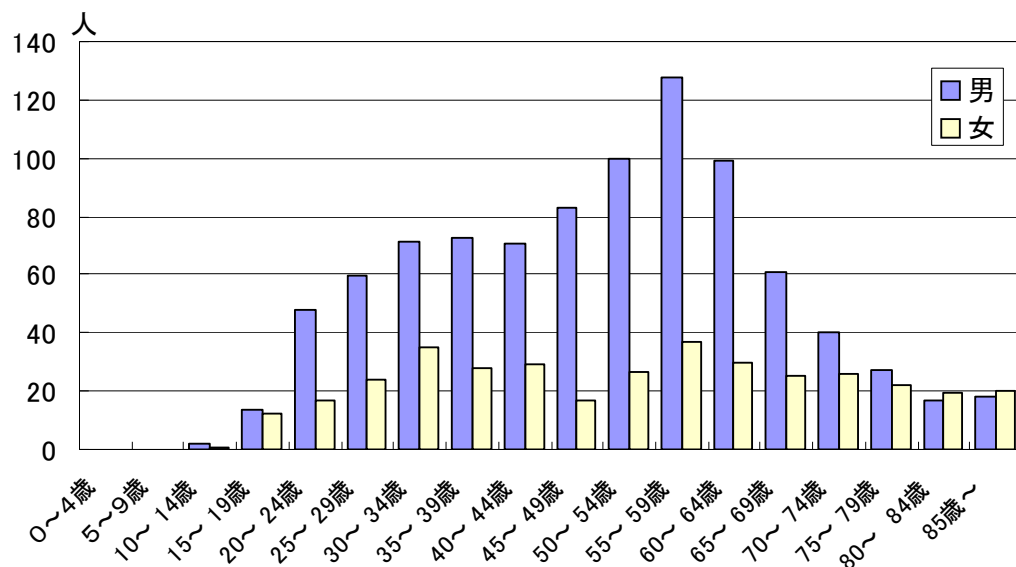
図表1 自殺死亡数の年次推移（総数）



年齢階級別自殺死亡数は、男性は20～60歳で多く、女性は20～30歳代と50～60歳代の2つの山がみられるが、女性では高齢者の自殺死亡数は男性のような顕著な減少はみられない。

自殺死亡数の男女比は総数で見ると男性が女性の約2.6倍であるが、年齢階級別にみると35～64歳は男性が女性の3倍以上と男性の死亡数が全体の平均よりも多くなっていた。年齢が高くなると男女差は減少し、75歳以上では男女差はほとんどなくなっている。

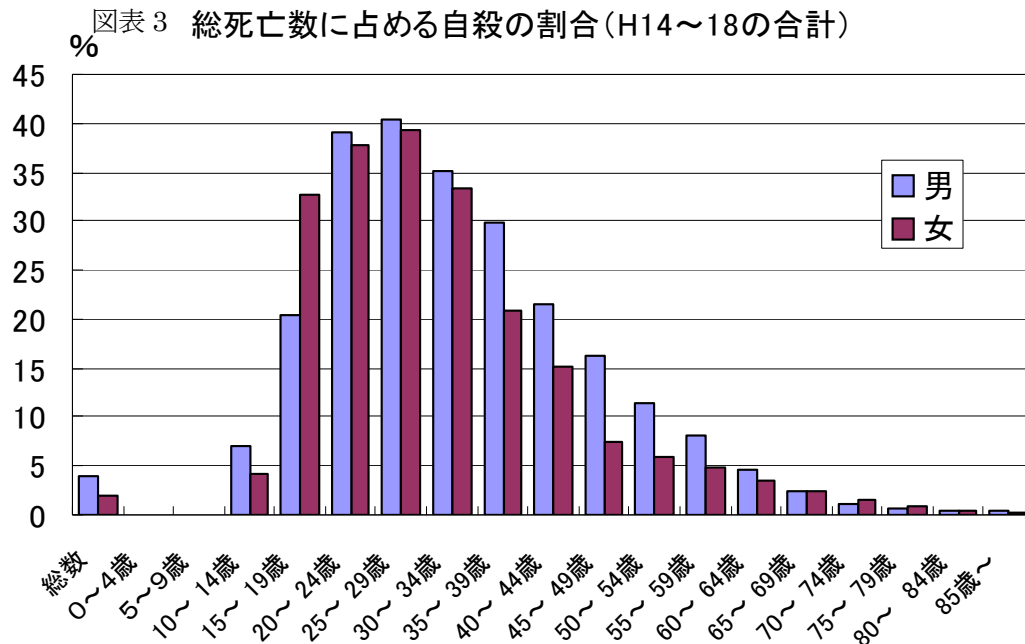
図表2 性・年齢階級別 平成16～18年の自殺死亡数平均値



## 2. 年齢階級別死亡割合

平成14年から平成18年の合計について年齢階級別死因別死亡割合をみると、男性では20～44歳、女性では15～34歳で自殺の死因割合が高く、男女とも20歳代では死因の約4割を占めていた。

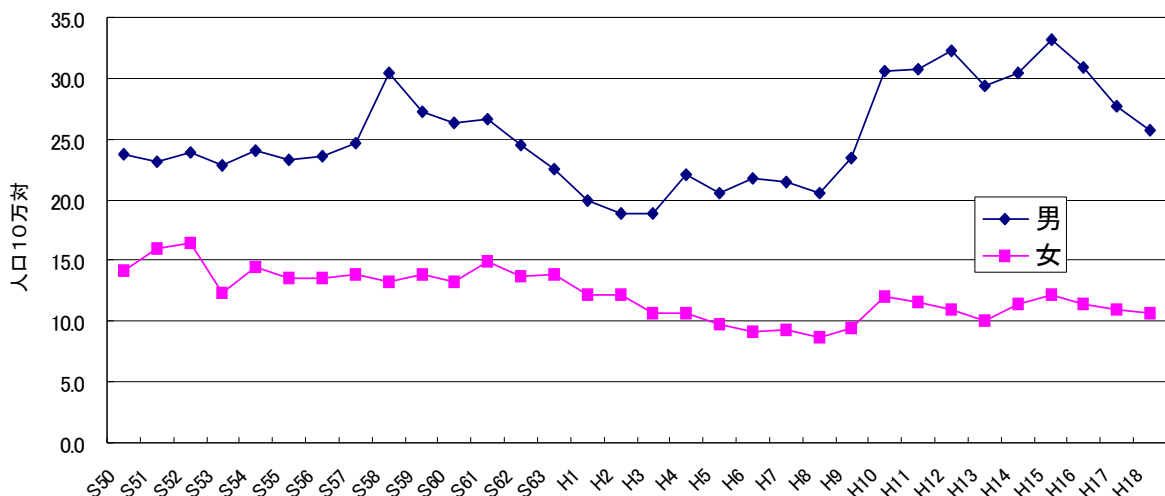
平成18年度の年齢階級別の死因の順位でみると、全年齢では男性6位、女性7位であるが、男性では15～19歳2位、20～44歳1位、45～54歳3位、55～64歳4位、女性では15～29歳1位、30～44歳2位、45～64歳4位であり、若年者においては死因の1位、2位を占めていた。



## 3. 自殺死亡率

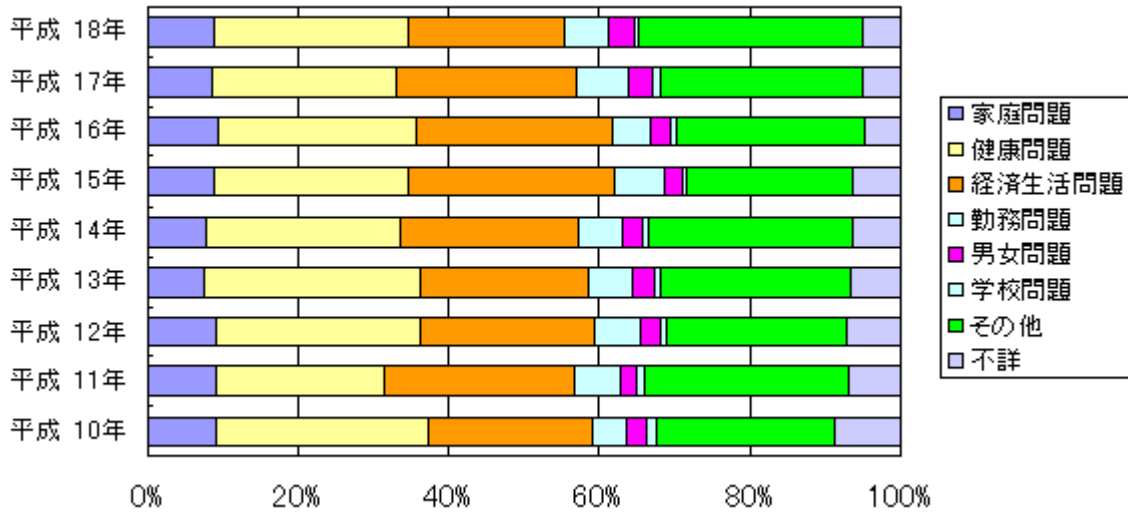
千葉県の自殺年齢調整死亡率の年次推移をみると、男性では平成18年度25.7と平成15年度の33.2をピークに毎年減少しているが、女性は平成15年度12.2、18年度10.7とその減少は男性ほど顕著ではない。

図表4 自殺の年齢調整死亡率年次推移



原因・動機別の割合を全国と比べると、全国では健康問題が最も多く約半数を占めていたのに対して、千葉県では約25%と全国より健康問題が原因の自殺死亡が少なく、その他の占める割合が多かった。千葉県全体で見ると、健康問題と経済生活問題で約半数を占めていた。経済生活問題が占める割合は平成15年度が最も多く27.4%であったが、平成18年度には20.6%となっている。

図表5 千葉県自殺死亡者の動機・原因割合の年次推移(警察統計)



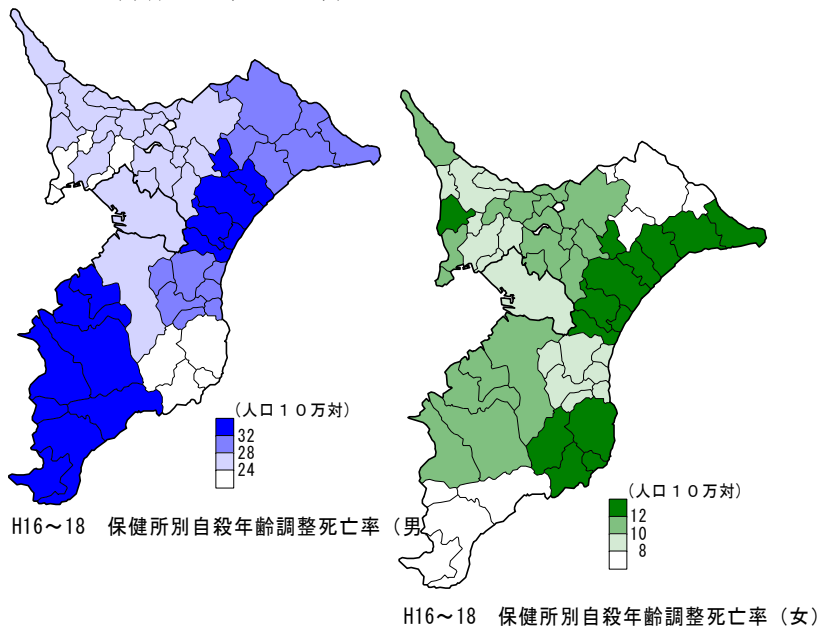
#### 4. 地域的特性

##### 1) 保健所管内別の比較

平成16年から平成18年の自殺死亡数の平均値について年齢調整死亡率算出し、保健所管内で比較した。男性では安房、君津、山武が高く、市川、習志野、夷隅が低かった。女性では、松戸、海匝、山武、夷隅が高く、安房、香取が低かった。

図表7 保健所管内別年齢調整死亡率

図表6 保健所管内別の自殺年齢調整死亡率  
(平成16年~18年)



	男		女
県	26.1	県	10.2
市川	20.9	安房	5.7
習志野	22.5	香取	7.4
夷隅	22.9	長生	8.2
市原	24.6	千葉市	8.8
野田	24.6	習志野	9.7
印旛	24.9	柏	9.8
柏	25.1	船橋市	9.8
松戸	25.2	君津	10.2
船橋市	25.5	市原	10.3
千葉市	26.9	市川	10.3
香取	29.4	印旛	10.4
海匝	31.0	野田	11.5
長生	31.4	松戸	13.0
安房	33.4	海匝	13.1
君津	33.5	山武	14.0
山武	35.1	夷隅	15.9

## 2) 市町村別の比較

### (1) 年齢調整死亡率

平成16年から平成18年の自殺死亡数を合計した値を用いて市町村別の調整死亡率を算出し、市町村の比較を行なった。自殺年齢調整死亡率の最も高い値は男性63.8、女性31.5、最も低い値は男性11.6、女性0であった。年齢調整死亡率のベスト5、ワースト5の自治体名を見ると、ワースト5の中には男女ともに共通の自治体が見られたが、ベスト5では男女とも値が県内5以内に含まれる自治体はみられなかった。

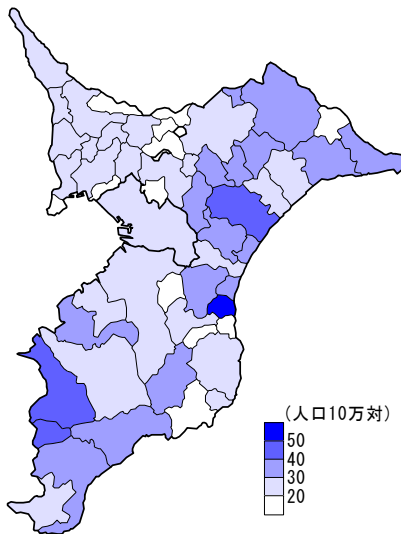
図表8 平成16～平成18年度の合計でみた市町村別自殺年齢調整死亡率の順位

#### (1) ベスト5

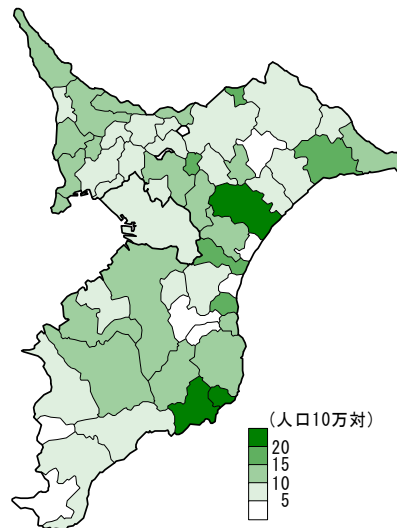
#### (2) ワースト5

順位	男		女		男		女	
	市町村名	死亡率	市町村名	死亡率	市町村名	死亡率	市町村名	死亡率
1	勝浦市	11.6	白子町	0	長生村	63.8	御宿町	31.5
2	東庄町	13.2	多古町	0.8	富津市	41.9	勝浦市	23.3
3	本埜村	13.6	睦沢町	1.1	鋸南町	41.4	山武市	21.6
4	一宮町	13.9	九十九里町	2.6	山武市	41.3	酒々井町	19.0
5	長柄町	15.4	鋸南町	2.8	東金市	38.4	長生村	18.7

図表9 性別、平成16～平成18年の合計でみた市町村別自殺年齢調整死亡率の分布



H16～18 市町村別 年齢調整死亡率（男）

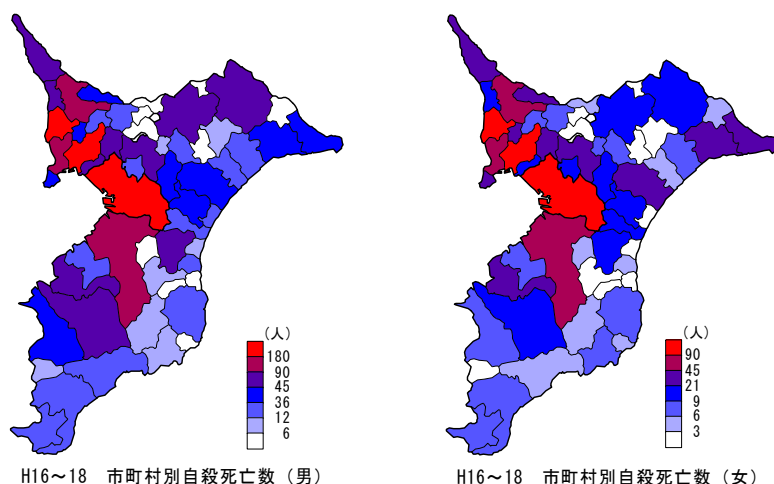


H16～18 市町村別 年齢調整死亡率（女）

### (2) 自殺死亡数

市町村別の平成16年から平成18年自殺死亡数は2～560人に分布し、その内訳は男性が1～418人、女性が0～142人であった。市町村別の自殺死亡数の状況は図に示すように、男女とも人口の多い市町村での自殺死亡数が多かった。表3に示したように、男女とも県全体の自殺死亡数の3分の1は3市（千葉市、船橋市、松戸市）で占められていた。

図表 10 性別、平成 16～平成 18 年の市町村別合計自殺死亡数の分布



図表 11 3 年間の合計自殺死亡数カテゴリ別の市町村数

(男)				(女)				(総数)			
カテゴリ (人)	市町村 数	自殺死亡 数(人)	自殺死 亡数%	カテゴリ (人)	市町村 数	自殺死亡 数(人)	自殺死 亡数%	カテゴリ (人)	市町村 数	自殺死 亡数(人)	自殺死 亡数%
0～5	10	34	1.2	0～2	11	16	1.4	0～8	12	72	1.9
6～11	7	53	1.9	3～5	8	30	2.7	9～17	6	78	2.0
12～29	12	259	9.5	6～8	11	81	7.3	18～38	11	322	8.4
30～44	11	429	15.7	9～20	10	160	14.4	39～65	11	620	16.1
45～89	10	615	22.5	21～44	10	274	24.7	66～134	10	859	22.4
90～179	3	469	17.2	45～89	3	205	18.5	135～269	3	674	17.6
180～	3	872	31.9	90～	3	343	30.9	270～	3	1215	31.6
合計	56	2731	100.0	合計	56	1109	100.0	合計	56	3840	100.0

(3) 年齢階級別、自殺死亡割合

年齢階級別の自殺死亡割合を市町村で比較するため、年齢を 10～34 歳、35～64 歳、65 歳以上の 3 階級に分けて比較した。全体の平均では、10～34 歳が 21.8%、35～64 歳が 56.1%、65 歳以上が 21.9% であったが、総死亡数に自殺死亡数の占める割合は市町村により異なっていた。自殺死亡数が総数に占める割合の最大値は、10～34 歳が 43.8%、35～64 歳が 80.0%、65 歳以上が 66.7%であった。

図表 12 年齢階級別、市町村別の平成 16～平成 18 年総死亡数に占める自殺死亡数の割合 (総数)

